

2014年4月24日

**日清製粉の米国子会社 (Miller Milling Company, LLC) が米国 4 製粉工場を取得  
～米国第 4 位の製粉会社へ躍進し、日清製粉の海外生産比率は 50% に～**

日清製粉グループの日清製粉株式会社（社長：大枝 宏之、以下「日清製粉」）の米国子会社である Miller Milling Company, LLC（以下、「ミラー・ミリング・カンパニー LLC」）は、Cargill, Inc.（以下「カーギル社」）、Horizon Milling, LLC（以下、「ホライズン・ミリング社」）、ConAgra Foods Food Ingredients Company, Inc.（以下、「コナグラ社」、以上 3 社を併せて「売主」）から、米国の 4 製粉工場を 215 百万米ドル（約 221 億円）で取得することを決定し、売主と資産譲渡契約を締結しましたので、下記の通りお知らせします。この資産譲受により、ミラー・ミリング・カンパニー LLC は米国第 4 位の製粉会社へ躍進し、日清製粉の海外生産比率は 50% に拡大します。

記

**1. 本取得の背景・目的**

日清製粉は 2012 年 3 月にミラー・ミリング・カンパニー LLC を買収して先進国最大の製粉市場である米国に進出した後、2013 年 2 月には同社のウィンチェスター工場（バージニア州）の新ライン増設、フレズノ工場（カリフォルニア州）の増能力により、生産能力を 30% 増強すると共に、日清製粉の強みである開発力・技術力、安定した品質の小麦粉供給力等を生かして積極的な事業拡大を進めてまいりました。

一方、米国製粉業界においては第 1 位（※）のホライズン・ミリング社と第 3 位（※）コナグラ社の製粉部門が合併し、Arden Mills, LLC（以下「アーデント・ミルズ社」）の設立が発表されたことや、第 4 位（※）の Cereal Food Processors, Inc.（シリアル・フード・プロセッサ社）に売却の動きがあるなど、昨年来大きく変化しています。このため、ミラー・ミリング・カンパニー LLC においても、さらなる業容拡大のためには次なる成長戦略が必要となっていました。

そのような中、アーデント・ミルズ社の設立に際し、売主に対して、米国司法省 (Department of Justice) から一部工場の売却が指示され、売主は 4 工場を入札方式で売却を進めることとなりました。今回の売却対象である 4 工場は立地や製品などにそれぞれ特徴があり、また、ミラー・ミリング・カンパニー LLC とのシナジー効果も考えられることなどから、日清製粉の海外事業拡大に資する案件と判断し、今般、売却に応札しこれを取得することとしました。4 製粉工場取得後、ミラー・ミリング・カンパニー LLC の生産能力は約 5,900 トン/日（原料小麦ベース）となり、全米第 4 位の規模となります。

（※）「Grain & Milling Annual 2014」（出版元：Sosland Publishing Co.）による

## 2. 当社グループにとっての本取得の意義

当社グループは、2012年4月から、トップライン（売上高）の拡大と海外事業の拡大を最優先戦略とする中期経営計画「NNI-120、スピードと成長、拡大」（以下、「NNI-120」）をスタートさせました。「NNI-120」では、近い将来の売上高1兆円、海外売上高比率30%以上の達成を目標に掲げていますが、本取得は中期経営計画達成に向けた当社グループの成長戦略を加速させるものです。

日清製粉では、2012年3月のミラー・ミリング・カンパニー LLC、2013年2月のニュージーランドの Champion Flour Milling Ltd.（チャンピオン製粉 Ltd.）の取得などにより、海外事業の拡大をスピードを上げて進めてまいりました。本取得により海外製粉工場の生産能力は約7,500トン/日（原料小麦ベース）となり、生産能力の海外比率は約50%に拡大し、国内生産規模と匹敵する水準となります。

また、本取得により、ミラー・ミリング・カンパニー LLCの原料購入数量が大幅に増加し、取り扱う原料小麦の種類・品種、生産地域等が多様化することで、これまで以上に幅広く原料情報の入手やノウハウの習得等が可能となります。このことは、グローバルな市場で製粉事業の展開を目指している当社グループにとって、非常に有意義であると考えています。

本取得により、北米での製粉事業の拡大を加速させていくとともに、今後も海外事業展開により一層注力してまいります。

## 3. 取得価額及び取得する工場の概要

ミラー・ミリング・カンパニー LLCが、売主より資産譲渡方式で4工場及び資産譲渡日（本年5月末頃を予定）の棚卸資産を取得します。本取得に係る取得価額は215百万米ドル（約221億円、1米ドルは103円で換算）を予定しています。なお、本取引に関する資産譲渡は、米国司法省からの承認取得後、実行される予定です。

### ①取得する工場所在地及び生産能力（原料小麦ベース）

1) Los Angeles 工場（以下「ロサンゼルス工場」）	780 トン/日
2) Oakland 工場（以下「オークランド工場」）	880 トン/日
3) Saginaw 工場（以下「サギノー工場」）	880 トン/日
4) New Prague 工場（以下「ニュープラーク工場」）	1,120 トン/日
合計	約 3,660 トン/日

※ロサンゼルス工場はカーギル社及びホライズン・ミリング社から取得します。それ以外の3工場に関しては、コナグラ社から取得します。

### ②主要販売先

製パンメーカー、製菓メーカー、製麺メーカー、トルティーヤメーカー、その他食品製造メーカー、食品卸売会社等

#### 4. 工場取得後のミラー・ミリング・カンパニー LLC 概要

- 1) 名 称: Miller Milling Company, LLC (ミラー・ミリング・カンパニー LLC)
- 2) 本社所在地: アメリカ合衆国 ミネソタ州
- 3) 代 表 者: 社長 渡辺一充
- 4) 資 本 金: 約1百万ドル
- 5) 設 立: 1985年(2012年当社グループが買収)
- 6) 事業内容 : 小麦粉等の製造販売
- 7) 従業員数 : 約280名
- 8) 工場所在地及び生産能力(原料小麦ベース):

ウィンチェスター工場(バージニア州)	1,640 トン/日
フレズノ工場(カリフォルニア州)	600 トン/日
ロサンゼルス工場(カリフォルニア州) ※	780 トン/日
オークランド工場(カリフォルニア州) ※	880 トン/日
サギノー工場(テキサス州) ※	880 トン/日
ニュープラーグ工場(ミネソタ州) ※	1,120 トン/日
計 約5,900 トン/日	

※は今回取得する工場です。

#### 5. 取得相手先の概要

##### <カーギル社>

- 1) 名 称: Cargill, Inc.
- 2) 所 在 地: アメリカ合衆国 ミネソタ州
- 3) 代 表 者: President and CEO David W. MacLennan
- 4) 設 立: 1865年
- 5) 事業内容 : 穀物取引事業、内外物資の輸出入、及び販売業等

##### <ホライズン・ミリング社>

- 1) 名 称: Horizon Milling, LLC
- 2) 所 在 地: アメリカ合衆国 ミネソタ州
- 3) 代 表 者: President Dan Dye
- 4) 設 立: 2002年
- 5) 事業内容 : 小麦粉等の製造販売
- 6) そ の 他: 同社はカーギル社の子会社です。

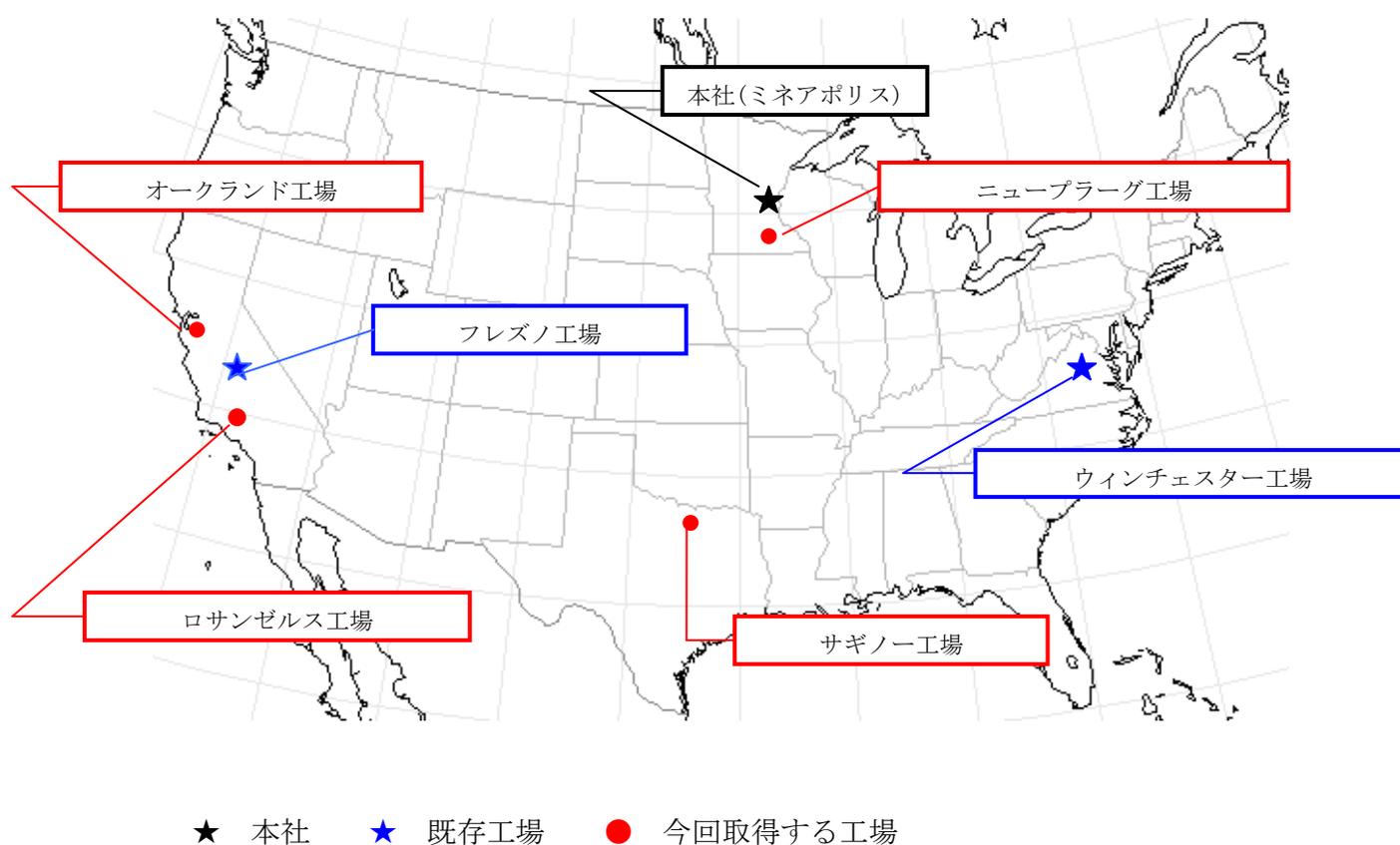
##### <コナグラ社>

- 1) 名 称: ConAgra Foods Food Ingredients Company, Inc.
- 2) 所 在 地: アメリカ合衆国 ネブラスカ州

- 3) 代 表 者 : President Paul Maass
- 4) 設 立 : 1919 年
- 5) 事業内容 : 食品関連商材、小麦粉等の製造販売
- 6) そ の 他 : 同社は ConAgra Foods, Inc. (コナグラ・フーズ社)の子会社です。

## 6. 参考資料

<ミラー・ミリング・カンパニー LLC の本社及び工場所在地>



以上

この件に関する報道関係者の方々のお問合せ先  
株式会社日清製粉グループ本社 総務本部広報部 担当：扇谷・佐々井  
東京都千代田区神田錦町1-25 電話03-5282-6650